

## 土台作りが大切!



土台がしっかりしていない建物は、いくら上物が立派でも地震が来ると崩壊してしまいます。教室の窓から工事現場を見ると、今まさに土台作りの真最中です。柱一本を埋めるのに、これほど土を掘り起こし、地盤を固めなければいけないのだと感じています。

さて、中学校の三年間は人生の土台作りの期間と言われます。いろんなことに挑戦し、いろんなことを学び、人として大きく成長できる大切な時期だからです。もう少し細かくすると、中学1年生は中学校生活の土台作りと言えますね。まだずいぶん先のように思いますが、あなたたちが卒業するときにどれだけ大きく成長できるか、その土台をつくるのが今です。学習面で言えば、今をどのように過ごすかで、2・3年生の成績も大きく左右されます。つまりいたままにしておくと、どんどんわからなくなりますよ。また、学習だけでなく友達との付き合い方も大切です。今後、あなたたちは多くの人とかかわっていきます。相手の気持ちを思いやる心、自分を大切にする心を育んでくださいね。

## そもそも勉強って何でしょう。

ある本に、「勉強は、できないことをできるようにすること」と書いてありました。ノートを取りながら授業を聞いて、わからないことがわかるようになる。問題集を解くことで、習ったことを確かめることができる。教科書を読むことで、知らないことを知るようになる。

中学生の勉強は、予習→授業→復習→テストに分かれます。授業では、今までに習ったことの新しいことを教えてもらいます。その準備をするのが予習です。「わからないこと」は何かを明らかにすることです。授業では、「わからなかった」ことを「わかる」ようにするために自分から取り組みましょう。

そして、復習は確認の場です。復習をしないと習ったことを忘れてしまいます。わかったことを定着させる復習が大事です。その成果がテストで試されます。テストで慌てなくてよいように、毎日の復習を継続し習慣化しましょう。



## 保護者の方へ

- 本日、三者懇談会の案内を配付させていただきました。今年はコロナの影響で家庭訪問がなくなり、なかなか保護者の方とお子さんの様子についてお話しする機会がありませんでした。わずかな時間ではありますが、この機会にお子さんの家での様子などを教えていただきたいと思います。よろしくお願いします。